



秋草学園高等学校

ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2022

「いのちを大切にできる心を養う」

活動概要

私たちは、校内の活動だけではなく小さい子どもからお年寄りの方まで、多くの年代の方と交流しています。秋草学園の建学の理念である「愛され信頼される女性の育成」を目指す実践の場として地域での活動やNPO法人などの公益事業への寄付をしています。

主な活動内容

- ・狭山市社会福祉協議会 ワークショップ【狭山市】
- ・高校生「Yumeプロジェクト」【狭山市】
- ・コンタクトのアイシティ ecoプロジェクト【校内】
- ・古着deワクチン【校内】
- ・切手、はがき回収【校内】
- ・募金活動(生徒会主催・ボランティア部協力)【校内】
 - 赤い羽根募金
 - 緑の羽根募金
 - 緑のトラスト募金



「いつも笑顔で、優しさと 思いやりを持って活動」

活動の目的・志など

多くのボランティア活動を経験することで、自主性・人間性の向上やコミュニケーション能力が身に付くと考えています。また、そこで得た知識や技術は、将来社会に出たときに役立つと思っています。

私たちは、活動時に「笑顔で接すること」や「相手に合わせる」ということを心がけています。また、全員が協力して積極的に行動するようにしています。

古着deワクチン という活動を知っていますか？



古着deワクチンは、「日本リユースシステム株式会社」「株式会社リクルート(ゼクシィBaby)」「認定NPO法人世界の子どもに ワクチンを日本委員会」で共同企画している活動です。私たちボランティア部では、2年前からこの活動に参加しています。

古着deワクチンとは、不要になった衣類を発展途上国に送り、また、そこで得た利益などを「ポリオワクチン」として「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に送る活動です。その後、ポリオワクチンは発展途上国に送られ、ワクチンを簡単に、自由に受けられない地域の子どもの対象に接種が進められています。

↓
「現地の困っている人」に送るのではなく、輸出先の国や地域に雇用やビジネスを作り出す目的で、「現地店舗などで販売」し、展開していく企画です！

私たちは、この活動によって、SDGs(持続可能な開発目標)の3番である「すべての人に健康と福祉を」の達成に近づくと考えています。

↓
発展途上国では、子供のうちに病気によって命を落とすケースが多いため、ワクチン接種の機会を増やすことにより、健康水準や平均寿命も延びるのではないかと。

↓
この活動に参加することによって、世界の健康水準も上昇しSDGsの達成に近づくのでは？

今までに回収した数は、なんと **20袋** 以上!!!
※袋1枚で薄手の服が約100枚入ります。



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から部員のアイデアにより、正面昇降口まえに回収ボックスを設置しました！



↑令和2年度に集まった古着の一部

多くの先生・生徒にご協力いただきました！



↑令和3年度に集まった古着の数

秋草学園高校公式YouTubeでも紹介していただきました！

「私たちが今できること ～自然との共存のために～」

今後の展望・夢など

秋草学園高校のボランティア部が活動し始めて、約30年になります。私たちはこれまでやってきたことを継続し、さらに発展させていきます。現在、世界では地球温暖化が問題視されています。これは、有害物質によりオゾン層の破壊が起こり地球の環境状況が崩れていくものなので、その有害物質を削減するために、一人ひとりの環境保護に対する意識と、今ある自然を守ることが大切だと思っています。今ある自然を守るため、私たちは5Rの取り組みに力を入れていきたいと考えています。具体的には、森林を守る活動への参加やリサイクル活動などへの取り組みに力を入れ、地球温暖化防止のために私たちが今できることに関する呼びかけ・活動を行って行きたいと思っています。

今は、新型コロナウイルスの影響で、学校外に出て活動することが難しい状況ですが、私たちボランティア部は今だからこそできることを探し、今後につなげていきたいと思っています。

集合写真



活動団体プロフィール

秋草学園高等学校は、埼玉県狭山市にある私立の女子高等学校です。「愛され信頼される女性の育成」という建学理念のもとに、礼儀作法や浴衣の着装など、本校ならではの授業なども行っています。私たちボランティア部は、1年生9名、2年生3名、3年生5名の計17名で活動しています。新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響もあり、ここ数年は学校内での活動がメインとなっていますが、少しでも多くの人の助けになりたい、と思い感染症対策を行いながら校内で呼びかけ運動をしたり、回収BOXを設置するなどアイデアを出しながら活動しています。また、長期休業中は、個人ボランティア期間として個人の活動も尊重しています。卒業した部員の多くは、幼児教育系や福祉系の大学に進学しており、将来リーダーとして活躍することが期待されています。